

特定技能 1 号の取り方

日本の人手不足分野において、外国人材が一定の専門性や技能を持って就労できる在留資格の一つです。2019年4月に新設されました。

主な特徴

-  在留期間：通算で最長 5 年
-  学歴不要：技能実習や留学経験がなくても試験に合格すれば取得可能
-  家族帯同：不可（原則として）

資格取得の要件

技能水準の試験合格

- ▶ 施工、図面理解の「特定技能評価試験」があり、合格する必要がある。
※ 試験は海外・日本の両方で実施され、合格すれば申請資格が得られる。

日本語能力試験

- ▶ 日本語能力試験（JLPT）がN4以上。または、国際交流基金日本語基礎テスト（JFT-Basic）に合格する必要がある。

良好な健康状態

- ▶ 就労に支障がない健康状態であること。

受け入れ機関との雇用契約

- ▶ 法務省に登録された「特定技能所属機関」との契約が必要。

試験について

- ① JLPT(日本語能力試験)：簡単な日常会話の理解、短い文章の読解

【公式サイト】 <https://www.jlpt.jp/>



- ② JFT-Basic(日本語基礎テスト)：JLPTよりも実践的で会話中心、買い物・交通・仕事場でのやりとり

【公式サイト】 <https://www.jpf.go.jp/jft-basic/>



試験の比較



	①JLPT(日本語能力試験) ✓	②JFT-Basic(日本語基礎テスト) ✓
実施時期：	年2回（7月・12月）	毎月複数回（随時開催）
実施場所：	日本国内、海外各国（90以上の国と地域）	海外（アジアを中心に多数） or 日本国内のピアソンVUE試験センター
受験料：	日本国内 約6,500円（国によって異なる）	3,800円～4,500円程度（国によって異なる）
申込方法：	公式サイトからオンライン申込	ピアソンVUEのサイトからオンライン予約
		特徴：JLPTより受験機会が多く、 結果も早く出る（2～5日後）

特定技能評価試験

	学科試験	実技試験
	JAC公式HP引用	JAC公式HP引用
問題数 :	30問	20問
試験時間 :	60分	40分
出題形式 :	真偽法 (○×) および 2～4 択式	真偽法 (○×) および 2～4 択式
合格基準 :	合計点の 65%以上	合計点の 65%以上

サンプル問題 建設分野特定技能1号評価試験（学科試験）

第16問
写真はどのような工事を行っているか。

（しゃしんは どのような こうじを おこなっているか。）

1. コンクリート打設工事
（こんくリーとだせつ こうじ）
2. 機械土工（きかいど こうじ）
3. サッシ工事（さっし こうじ）
4. 屋根工事（やね こうじ）



こたえ：1

サンプル問題 建設分野特定技能1号評価試験（建築実技）

第4問
写真は何をしている状況か。

（しゃしんは なにをしている じょうきょうか。）

1. 地面に深い穴を掘っている。
（じめんに ふかい あなを ほっている。）
2. 地中に空気を送っている。
（ちちゅうに くきを おくっている。）
3. コンクリート内の気泡を除去している。
（こんくリーと ないの きほうを じょきょしている。）
4. 地面を締固めている。
（じめんを しめかためている。）



こたえ：4



特定技能評価試験を受験する方

特定技能評価試験は、スマホアプリ「JAC Members」を使って申し込みます。申込み方法がわからない場合は、マニュアルをご確認ください。



特定技能 2 号の取り方

日本で一定期間（特定技能1号など）働き、より高度な熟練技能を持つ外国人材に与えられる在留資格です。2019年4月に新設されました。

主な特徴

-  在留期間：更新に制限なし（無期限で延長可能）
-  対象分野：現在は建設と造船・船用工業の2分野のみ
-  家族帯同：可能（配偶者・子どもを日本へ呼ぶことができる）

資格取得の要件

熟練技能試験に合格

- ▶ 「建設特定技能2号評価試験」に合格する必要がある。

特定技能1号の就労経験

- ▶ 1号で一定期間（目安：数年）働き、経験を積んでから受験可能。また、技能実習や短期経験だけでは直接2号に移行できない。

受け入れ機関との雇用契約

- ▶ 法務省に登録された「特定技能所属機関」との契約が必要。企業は1号よりもさらに長期的な雇用・生活支援を行う責任がある。

試験について

分野：型枠・鉄筋・とび・土工など建設関連の熟練技能

出題例→複雑な施工方法、図面を正確に読み取る能力、安全管理・指導力（リーダー的役割を果たせるか）

【JAC公式サイト】 <https://jac-skill.or.jp/exam/>

特定技能評価試験

	学科試験	実技試験
	JAC公式HP引用	JAC公式HP引用
問題数 :	40問	25問
試験時間 :	60分	40分
出題形式 :	4択式	4択式
合格基準 :	合計点の75%以上	合計点の75%以上

サンプル問題 建設分野特定技能2号評価試験（学科試験）

第4問
建設業法において、適正な施工を確保するために配置が義務付けられている技術者を何というか。

1. 監理技術者・主任技術者
2. 現場代理人
3. 安全衛生責任者
4. 職長

こたえ：1

サンプル問題 建設分野特定技能2号評価試験（土木実技）

第1問
トンネル推進工事において使用する「推進台」について述べているものは、次のうちどれか。

1. 推進工法で使用する管である。
2. 推進管を所定の高さ、方向に導くための架台である。
3. 元押ジャッキの反力を均等に後方の地盤に伝えるものである。
4. 掘進機を押し出し、回収するための架台である。

こたえ：2



特定技能評価試験を受験する方

特定技能評価試験は、スマホアプリ「JAC Members」を使って申し込みます。申込み方法がわからない場合は、マニュアルをご確認ください。

